

フードドライブに協力を



市環境課は
フードロス削減
月間の今月
30日に初の『フ
ードドライブ』
をピアゴ西春
店で開催する。

同課では、3
月に可燃ごみ
を抽出し、組成
調査をした結
果、食品ロスご
みは11%にも
及ぶことが分
かった。これら
を減らすため
にも、自宅で不

要なまだ食べられる(消味
期限が1カ月以上ある)
食品を集める『フ
ードドライブ』を開催
する計画を立てた。

企画中に同課職
員が、SDGsの出
前授業として名古
屋芸術大学でフ
ードロスやごみの処
理方法などを話し
た。その際、同事業
ボランティアを募集
したところ、関心を
持った3人が応募
した。

同事業の企画を進め、一

名芸生ポスター制作と ボランティア

般市民への参加を呼び掛
けるために、ボランティア
にも参加する同大芸術学
部デザイン領域1年生の
足田末有さんがポスター
を制作した。

足田さんは「環
境や社会問題に
以前から興味が
ありました。今ま
でごみを当たり
前に捨てていまし
たが、授業を聞い
て、当たり前じゃ
ないことが多く
あることを知り、
周りの人にも当
事者意識がある
人は少ないので、
もっとたくさんの人
に知ってもらいたいと考え

ました。いい機会だと思
いボランティアにも参加
することにしました。ポ
スターは、柔らかなタッチ
でオレンジと黄色を基調
にしました。老若男女誰
でもが、買い置きや贈答
品など余っている食品を
寄付してくれるイメージ
です。背景はオレンジに
合うグリーンにしまし
た」と話す。

同事業を担当する富
田晃弘さんは「芸大の学
生さんならではのセンス

あるすてきなポスターを
作ってくれました。これ
を見て、たくさんの方がフ
ードドライブに食品を
持ってきてくれることを
願っています。集まった食
品はNPO法人フードバ
ンク愛知さんを通じて、こ
ども食堂などに配布しま
す。今後も定期的に開催
できるよう企画中です」
と協力を呼び掛ける。

フードドライブ事業
は、10月30日午前9時
正午、ピアゴ西春店前に

て。回収できる品目は、
米・缶詰・インスタント食
品・乾物(パスタ・うどん・
そばなど)・ギフトパック
(中元・歳暮の余り)・菓
子・幼児食品・調味料(食
用油・しょうゆ・みそな
ど)・飲料(ペットボトル・
缶類)・シリアル・フリー
ズドライ食品・コーヒー・
茶葉など。

※冷凍食品や生鮮食品、
開封されているものなど
は不可。その他詳細は市
環境課まで。